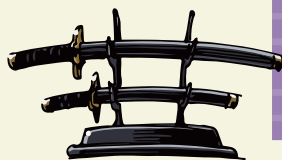


2月11日(祝)~3月19日(日)

企画展

蒲郡の刀鍛冶

～藤原武則・元久の世界～



竹谷町で2代に渡り活躍した刀鍛冶職人、藤原武則・元久が制作した日本刀を一同に展示します。質実剛健な日本刀の持つ美しさをご鑑賞ください。



招きねこ版画を配布します

江戸時代の版木から刷った開運の版画を配布します。

とき 2月19日(日)

ところ 1階ロビー

※1人1点限り

居合道演武

居合の形や巻き藁を切る演武を行います。

とき 2月12日(日) 午後2時~2時30分

ところ 1階ギャラリー

演武 戸山流居合道東海道場

新刀打ち(昭和45年)



竹島水族館
Aquarium
☎ 68-2059

館長の
ひつじさん



小林龍二

この時期、あまり外に出たくない
ので事務所にこもって意識的にし
じらしく雑用をしていることが多い
のですが、アシカショーをやる時
魚の世話をする時は外に出なければ
なりません。寒いんです。よし!
くぞ!と決心しないと事務所の外に
出られません。

展示水槽裏のバックヤードもエ
アコンは無いので結構寒いんです。竹
島水族館の人気展示である深海生物
エリアは水温が13℃なのでさらに冷
えており、水槽に手を入れると冷た
すぎて痛くなります。担当者はこの
時期、寒い寒い夜中に港に行き、漁
師さんから貴重な生き物を受け取る
作業もあります。逆に夏は涼しくて、
深海生物担当は快適空間にいること
ができます。かたや、熱帯魚の担当
エリアは28℃の水温環境で冬はやや
暖かく快適ですが、夏は温度も湿度
も上がり過酷な熱さに耐えるバック
ヤードになります。

アシカショーは外なので冬は見る
方もやる方もなかなか辛く、元気な
のはアシカだけ(逆に夏はとても弱
い)で、強風で特別寒い日などは簡
単な種目は省いて、他ではあまり見
られない難種目を中心にぎゅぎゅつ
と凝縮濃厚型でやや時間を短くした
ります。夏は涼しい深海担当と違っ
て、アシカショーは夏はさらに暑く、
暑すぎるとアシカがショーをサボリ
ます。気に入らないと噛みつくし。
アシカショーは人気で、担当者もお
客さんの目を引きませんが、環境とし
ては一番大変なポジションです。し
たがってアシカ担当の給料には若干
の特殊手当がついています。



寒くて手の感覚が無いですが、早めにショーを終わ
らせないと...